

異文化コミュニケーション

単位数：1 単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授

1. 科目の教育方針

国内外の異文化と多様性を理解し、海外における助産活動と国内の在日・在留外国人母児と家族などの異なる文化や価値観をもつ対象へのケアや支援を行う能力を培う。また、国内外の災害時における母児への助産ケアについて学ぶ。

2. 教育目標

- 1) 人間の基本的人権を理解し、多文化が共生することの基本原則を理解できる。
- 2) 様々な文化を持つ人々に、看護職としての基本的姿勢・態度および役割を説明できる。
- 3) 自分の身近にある「異文化」を認識し、考察できる。
- 4) 様々な異なる文化的背景について理解した上で、考えられる異文化／多文化による摩擦や人々の生活上の問題点を説明できる。
- 5) 助産・看護活動における異文化問題についての考察と対策について考えることができる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

授業は主に対面で進め、感染状況に応じてWebex、Teamsによるライブ配信、オンデマンドの講義を行う。

【評価】

講義への参加状況、プレゼンテーション内容、レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

【使用テキスト】

- 1) 我部山キヨ子編：助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健, 第 5 版, 2016, 医学書院

【参考文献】

- 1) レイニンガー看護論 文化ケアの多様性と普遍性 医学書院 1995 年
- 2) 助産の文化人類学 日本看護協会出版会 2001 年

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	国際社会と母子保健 わが国の国際化と母子保健と開発途上国の母子保健の現状	橋本
2	ミレニアム開発目標の達成と周産期の健康問題	橋本
3	国際看護学に関連する理論 レンインガー看護理論、ケネス・リー・パイクの「イーミック (emic)」と「エティック (etic)」	橋本
4	異文化ケア 異文化コミュニケーションの理解 医学モデルと助産モデル 医療人類学的視点からの助産・出産・子育て	橋本
5	助産・看護活動における異文化問題の考察と対策 (1) 在日・在留外国人への援助	橋本
6	助産・看護活動における異文化問題の考察と対策 (2) 在日・在留外国人への援助	橋本
7	助産・看護活動における異文化問題の考察と対策 (3) 災害と助産、避難所における支援	橋本
8	助産・看護活動における異文化問題の考察と対策 (4) 医療の場や多職種連携における異文化問題	橋本